



2026年2月13日

各位

会社名 株式会社シンカ  
代表者名 代表取締役社長 江尻 高宏  
(コード：149A 東証グロース市場)  
問合せ先 財務経理部長 市川 裕二  
(TEL. 03-6721-0415)

### Thinca VISION2030策定

### コミュニケーション・シンギュラリティ構想でAI投資に約9.8億円

当社は、本日開催の取締役会において、2030年を見据えた新たな成長ビジョン「Thinca VISION 2030」を策定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。本ビジョンのもと、「コミュニケーション・シンギュラリティ構想」を実現することで、時価総額100億円規模の企業価値を早期に実現し、その先にある2030年12月期における売上高65億円・営業利益15億円以上の達成を目指してまいります。

## Thinca VISION 2030

02 Earning Forecast



# Thinca VISION 2030

2030年12月期 目標

売上高

6,500百万円  
以上

営業利益

1,500百万円  
以上

PER

15倍  
以上

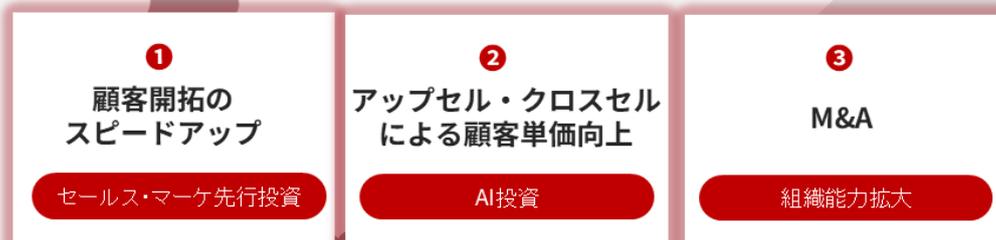
コミュニケーション・シンギュラリティ構想を実現し  
顧客企業の対話課題をAIで加速解決する

顧客価値拡大と将来キャッシュフローの積み上げの結果として、  
時価総額100億円を早期に達成させる

©Thinca Co., Ltd. All Rights Reserved

## コミュニケーション・シンギュラリティ構想

### 成長投資：重点戦略



©Thinca Co.,Ltd. All Rights

### 「コミュニケーション・シンギュラリティ構想」実現に向けた3つの重点領域

第一に、セールス・マーケティングへの積極投資による「顧客基盤の拡大」。第二に、後述するAI投資を通じた機能強化による「ARPU（顧客単価）の向上」および「解約率の低減」。そして第三に、技術獲得や市場シェア拡大を加速させる「戦略的M&A」です。これら3つの要素を有機的に結合させることで、「コミュニケーション・シンギュラリティ構想」を実現し、次世代のプラットフォームへと進化を遂げます。

### 一次情報データと生成AIを掛け合わせた成長戦略



©Thinca Co.,Ltd. All Rights

### 6億件のデータ資産が創り出す、模倣困難な競争優位性

当社の最大の強みは、創業以来蓄積してきた「6億件以上の会話データ」という独自の一次情報資産にあります。この膨大なデータと最新の生成AI技術を掛け合わせることで、感情解析、商談の自動要約、成約パターンの分析といった高付加価値機能を提供します。今回の約9.8億円の成長投資は、これらの「AI駆動型開発」や「サイクルAI機能」「新AIサービス」の開発および「AIコンサルティング事業」の立ち上げに充当されます。他社が容易に追従できない技術的障壁を築くことで、顧客にとって代替不可能なインフラへと進化してまいります。

以上